

台東区プラスチック分別回収モデル事業

排出実態調査報告書 概要版

1. 調査のあらまし

1-1 目的

台東区では循環型社会の実現に向け、現在は燃やすごみとして収集し清掃工場で焼却処理を行っているプラスチック製容器包装及びプラスチック使用製品（以下「プラスチック」という。）を分別回収する。

令和4年10月からプラスチック分別回収モデル事業（以下「モデル事業」という。）を区内大規模集合住宅で実施するなかで、区内全域実施に向けた分別方法の啓発及び排出指導の手法、資源化方法を検証するための基礎資料とするため、本調査を実施した。

1-2 調査概要

(1) 家庭から排出されるごみ・プラスチックの組成調査

家庭から排出されるごみやプラスチックの組成を把握するため、モデル事業の実施対象である区内大規模集合住宅4棟からサンプルを回収して調査を行った。調査はモデル事業実施前の9月に「燃やすごみ」・「燃やさないごみ」を、実施後の10月、11月に「燃やすごみ」・「燃やさないごみ」・「プラスチック」を1建物あたりそれぞれ20サンプル収集し、組成内容を調査した。

(2) 家庭から排出されるプラスチックの排出量調査

家庭から出るごみやプラスチックの区民1人1日あたりの排出量を把握するため、モデル事業の実施対象である区内大規模集合住宅4棟に居住する世帯のうち、あらかじめ承諾を得られた世帯を対象に調査を行った。11月18日（金）から11月23日（水）までの6日間で発生するプラスチックを回収し、袋の重量を測定した。

(3) モデル事業に関するアンケート調査

プラスチック分別回収を区内全域で導入する際に参考とする情報を収集するため、モデル事業の実施対象である区内大規模住宅4棟に居住する世帯（797世帯）に対し、アンケート調査を実施した。なお、調査票は各世帯へポストイングにより配付し、郵送または各大規模集合住宅に設置した専用の回収箱にて回収を行った。

調査期間：令和4年11月15日（火）配付・11月30日（水）締切		
配布数	回答数	回収率
797世帯	394世帯	49.4%

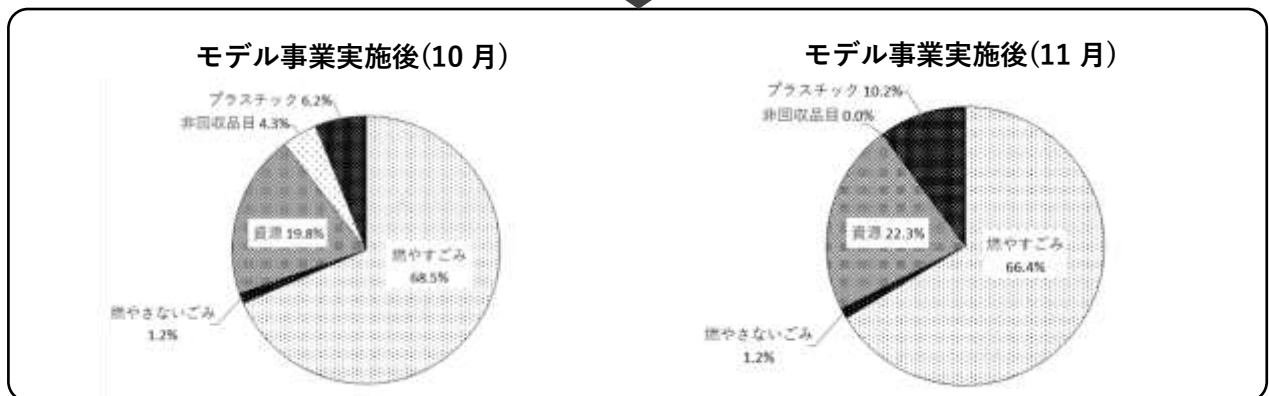
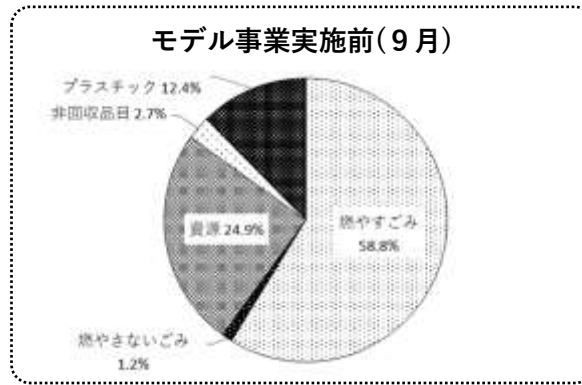
2. 調査結果

2-1 家庭から排出されるごみ・プラスチックの組成調査

(1) 燃やすごみ

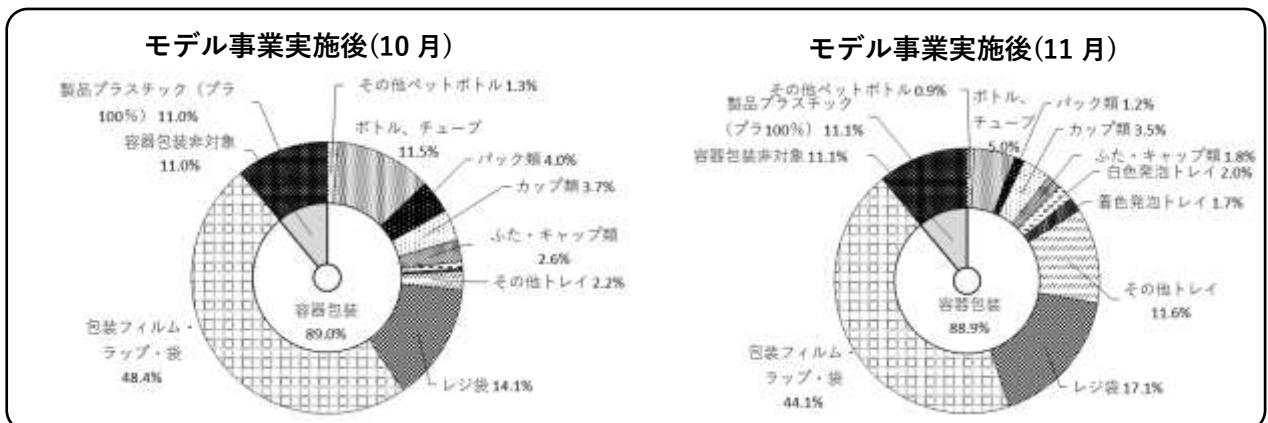
① 燃やすごみの組成割合

燃やすごみのうち「プラスチック」として分別回収するものの割合は、モデル事業実施前の9月が12.4%、モデル事業実施後の10月は6.2%、11月は10.2%となっている。



② プラスチックの分別

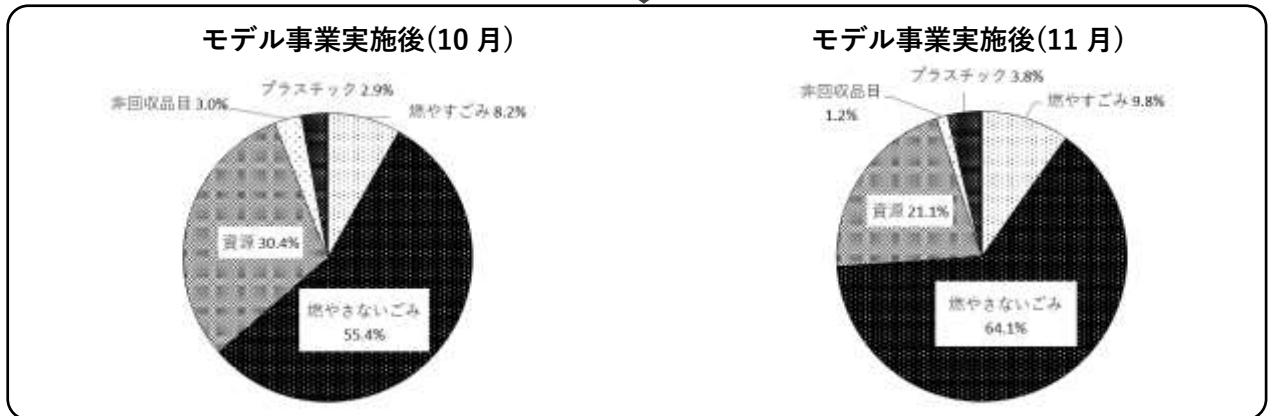
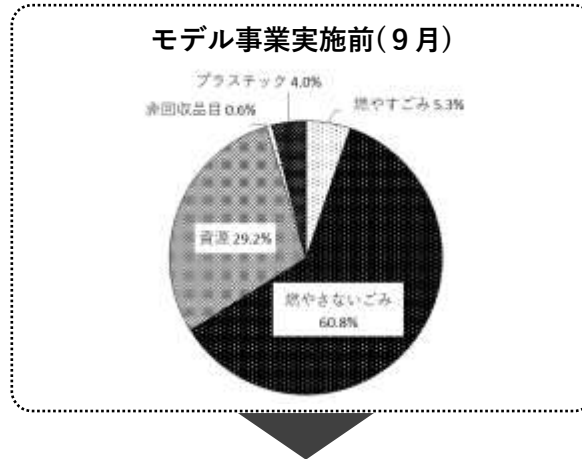
燃やすごみに含まれるプラスチックのうち、「包装フィルム・ラップ・袋」の割合が48.4% (10月)、44.1% (11月) と最も高く、次いで「レジ袋」が14.1% (10月)、17.1% (11月) となっている。



(2) 燃やさないごみ

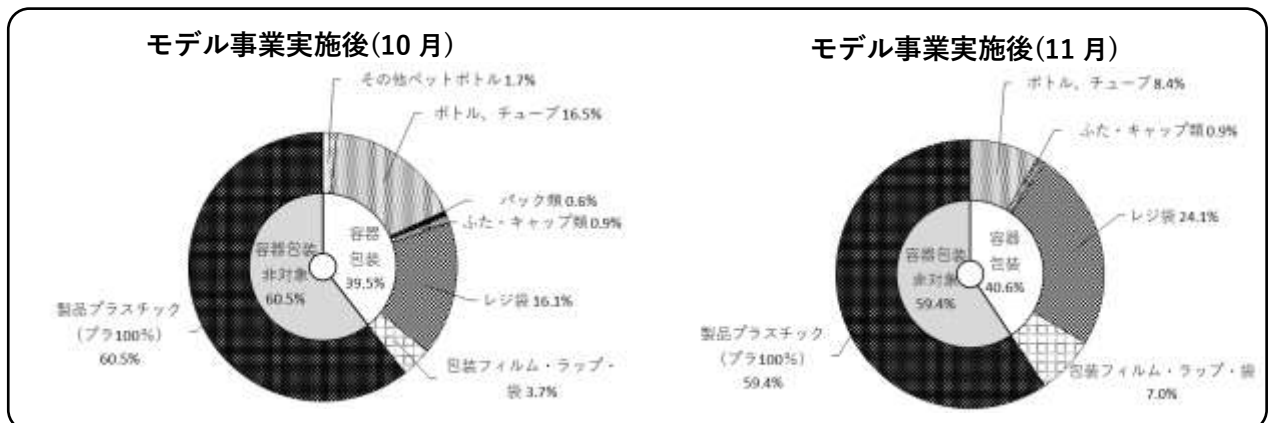
① 燃やさないごみの組成割合

燃やさないごみのうち「プラスチック」として分別回収するものの割合は、モデル事業実施前の9月が4.0%、モデル事業実施後の10月は2.9%、11月は3.8%となっている。



② プラスチックの分別

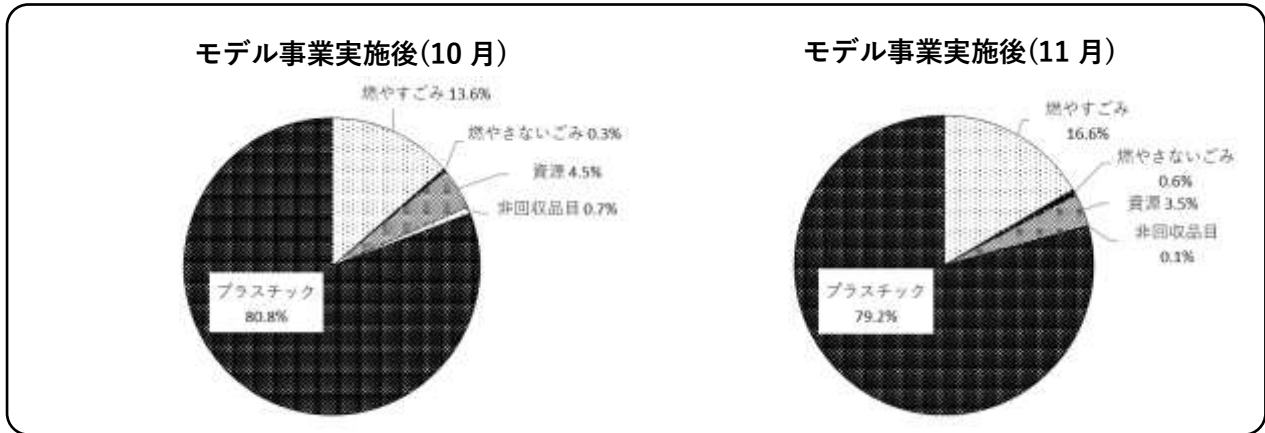
燃やさないごみに含まれるプラスチックのうち、「製品プラスチック」の割合が60.5%（10月）、59.4%（11月）と最も高く、次いで10月が「ボトル、チューブ」が16.5%、11月が「レジ袋」が24.1%となっている。



(3) プラスチック

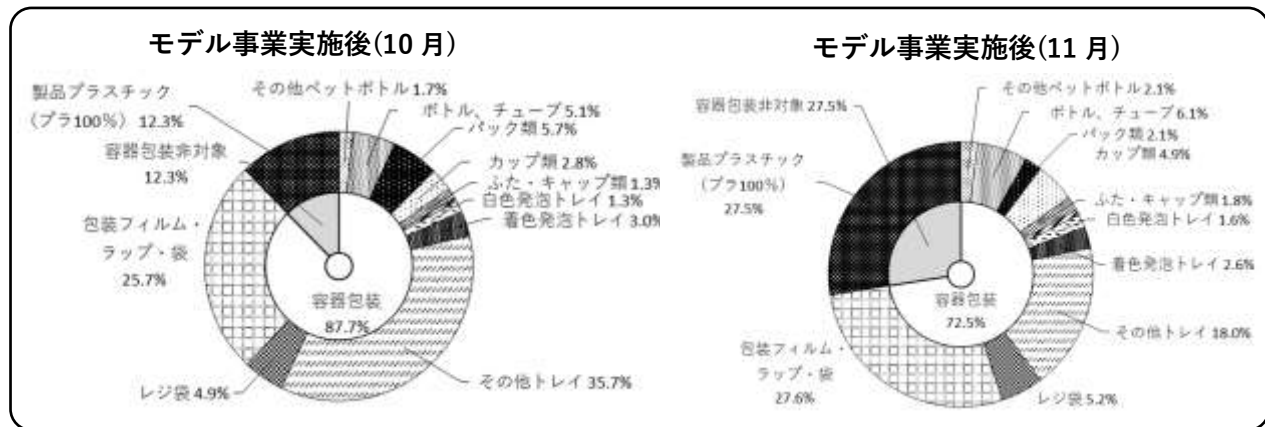
① プラスチックの組成割合

プラスチックのうち、プラスチックとして分別するものの割合は10月が80.8%、11月が79.2%となっている。



② プラスチックの分別

プラスチックの分別状況は、「その他トレイ」の割合が35.7%（10月）、18.0%（11月）、「包装フィルム・ラップ・袋」が25.7%（10月）、27.6%（11月）、「製品プラスチック（プラ100%）」が12.3%（10月）、27.5%（11月）と大きな割合となっている。



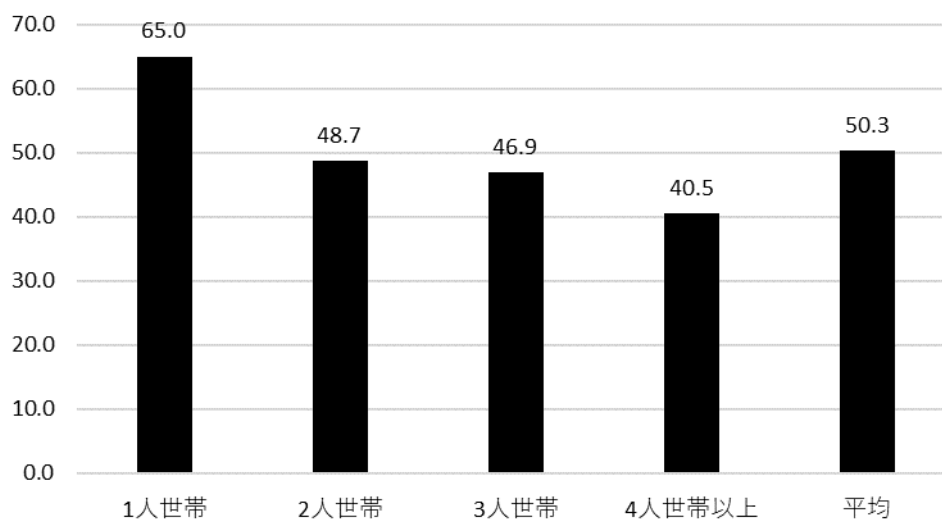
2-2 家庭から排出されるプラスチックの排出量調査

調査対象の1人1日あたりのプラスチックの平均排出量は50.3g/人日であり、概ね世帯人数が多いほど、1人1日あたりの排出量が少なくなっている。

(単位：g/人日)

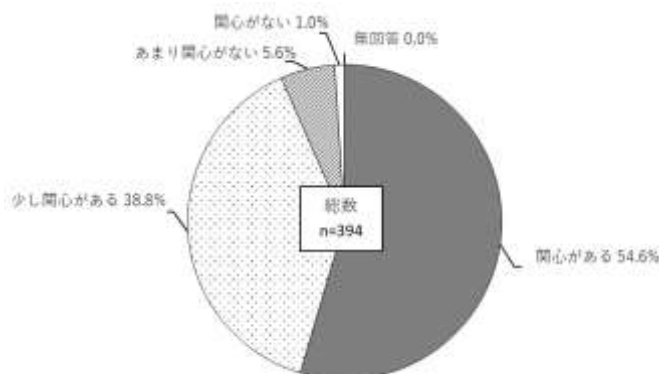
	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯以上	平均
大規模住宅 A	81.8	44.5	38.3	35.8	50.1
大規模住宅 B	59.5	44.9	49.8	36.6	47.7
大規模住宅 C	43.7	56.4	52.2	—	50.7
大規模住宅 D	75.2	49.1	47.2	49.2	55.2
平均	65.0	48.7	46.9	40.5	50.3

(g/人日)



2-3 プラスチックの分別回収導入におけるアンケート調査

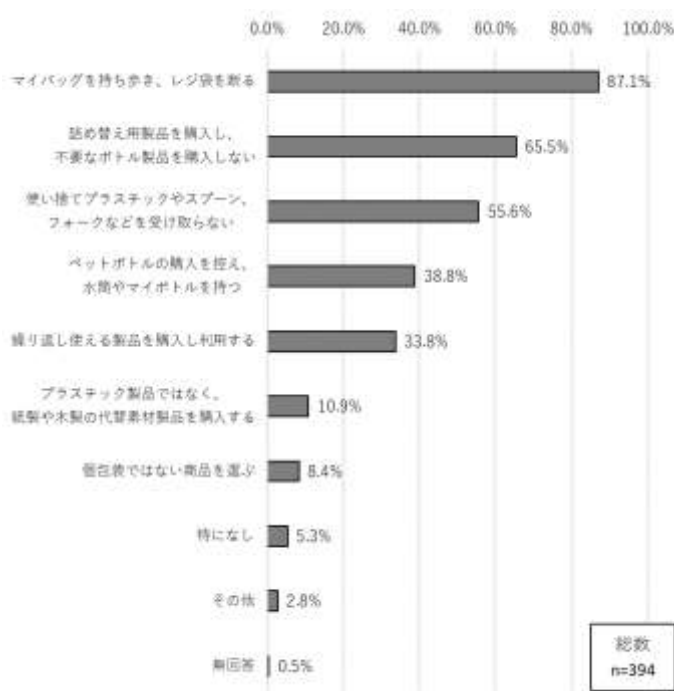
(1) プラスチック環境問題への関心



「関心がある」と回答した割合が 54.6%、「少し関心がある」が 38.8%であり、関心を持っている割合は 9 割を超えている。

一方、「あまり関心がない」が 5.6%、「関心がない」が 1.0%となっている。

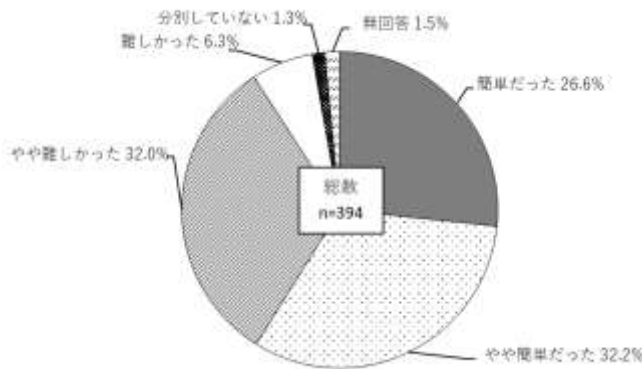
(2) プラスチック削減のための実践内容



「マイバッグを持ち歩き、レジ袋を断る」が 87.1%と最も多く、次いで「詰め替え用製品を購入し、不要なボトル製品は購入しない」が 65.5%、「使い捨てプラスチックやスプーン、フォークなどを受け取らない」が 55.6%となっている。

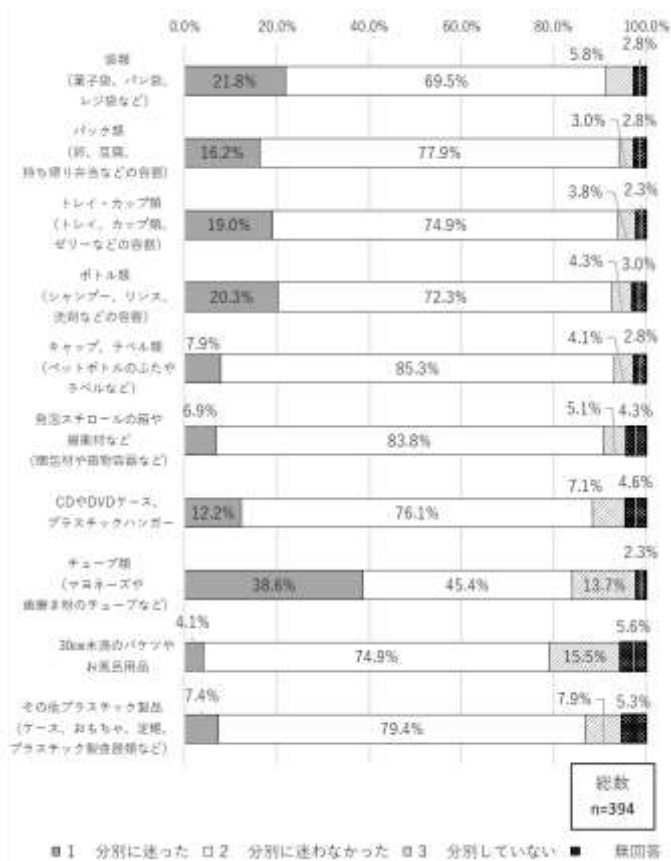
一方、「個包装ではない商品を選ぶ」、「プラスチック製品ではなく、紙製や木製の代替素材製品を購入する」の回答は少なかった。

(3) プラスチック分別回収の難易度



「やや簡単だった」と回答した割合が32.2%と最も多く、次いで「やや難しかった」が32.0%、「簡単だった」が26.6%、「難しかった」が6.3%、「分別していない」が1.3%となっている。

(4) 分別に迷った割合と迷った具体的な品目

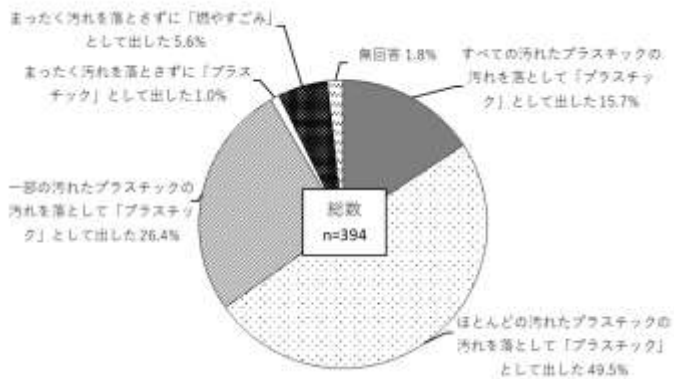


分別に迷ったと回答した割合が最も高かった品目は「チューブ類 (マヨネーズや歯磨き粉のチューブなど)」が38.6%となり、次いで「袋類 (菓子袋、パン袋、レジ袋など)」が21.8%、「ボトル類 (シャンプー、リンス、洗剤などの容器)」が20.3%、「トレイ・カップ (トレイ、カップ類、ゼリーなどの容器)」が19.0%、「パック類 (卵、豆腐、持ち帰り弁当などの容器)」が16.2%となった。

一方、分別に迷わなかったと回答した割合が最も高かった項目は「キャップ、ラベル類 (ペットボトルのふたやラベルなど)」が85.3%、次いで「発泡スチロールの箱や緩衝材など (梱包材や箱物容器など)」が83.8%、「その他プラスチック製品 (ケース、おもちゃ、定規、プラスチック製食器類など)」が79.4%であった。

また、「30 cm未満のバケツやお風呂用品」の15.5%と「チューブ類 (マヨネーズや歯磨き粉のチューブなど)」の13.7%が分別していないと回答している。

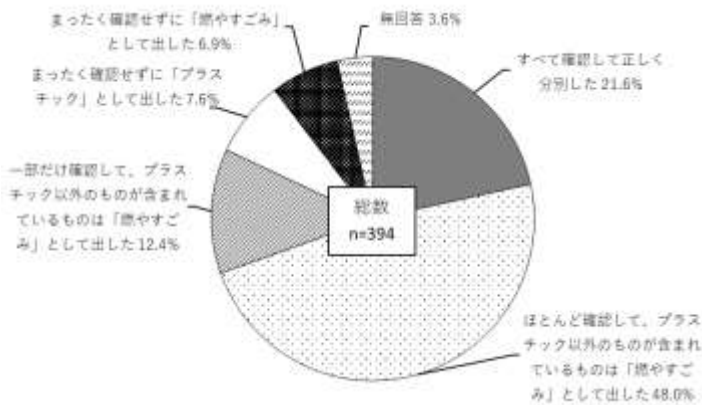
(5) 汚れたプラスチックの出し方



「ほとんどの汚れたプラスチックの汚れを落として「プラスチック」として出した」が49.5%と最も多く、次いで「一部の汚れたプラスチックの汚れを落として「プラスチック」として出した」が26.4%、「すべての汚れたプラスチックの汚れを落として「プラスチック」として出した」が15.7%となっている。

一方、「まったく汚れを落とさずに「燃やすごみ」として出した」は5.6%、「まったく汚れを落とさずに「プラスチック」として出した」は1.0%だった。

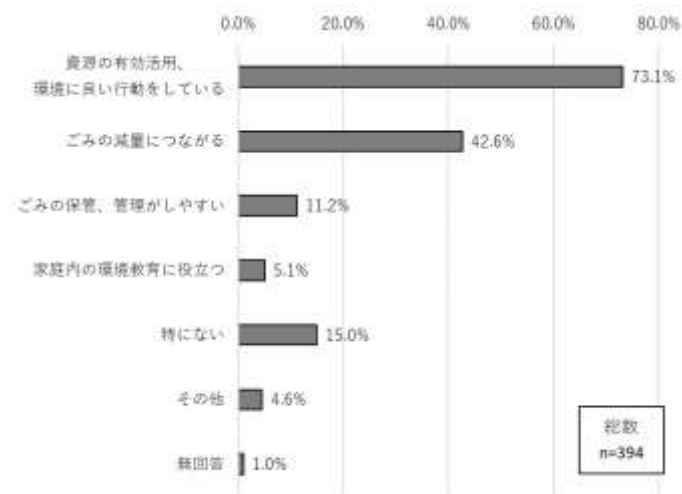
(6) プラスチック以外のもの（金属等）の確認・分別状況



「ほとんど確認して、プラスチック以外のものが含まれているものは「燃やすごみ」として出した」が48.0%と最も多く、次いで「すべて確認して正しく分別した」が21.6%、「一部だけ確認して、プラスチック以外のものが含まれているものは「燃やすごみ」として出した」が12.4%となっている。

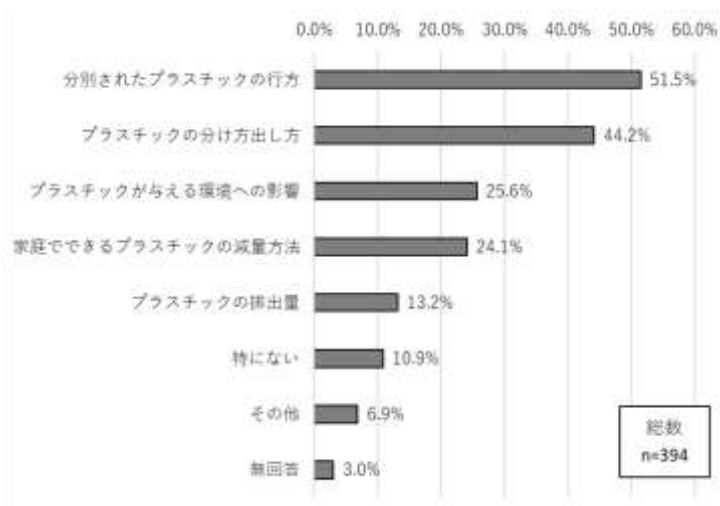
また、「まったく確認せずに「プラスチック」として出した」は7.6%、「まったく確認せずに「燃やすごみ」として出した」は6.9%だった。

(7) プラスチックを分別することで、良かったと思う部分



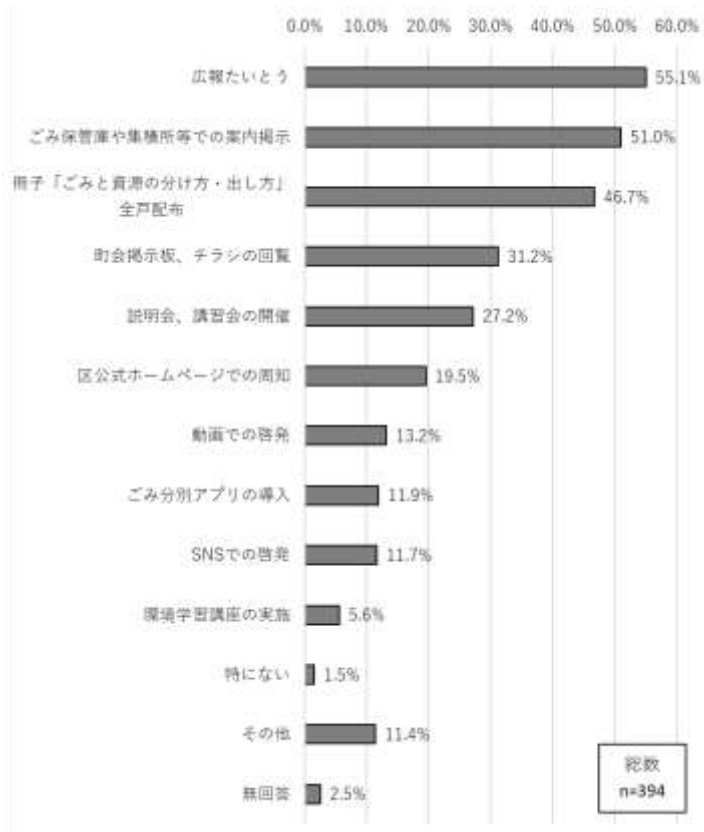
よかったと思う部分については、「資源の有効活用、環境に良い行動をしている」が73.1%と最も多く、次いで「ごみの減量につながる」が42.6%、「特にない」が15.0%、「ごみの保管、管理がしやすい」が11.2%、「家庭内の環境教育に役立つ」が5.1%となった。

(8) プラスチック分別回収をする上で知っておきたい情報



知っておきたい情報としては「分別されたプラスチックの行方」が51.5%と最も多く、次いで「プラスチックの分け方出し方」が44.2%、「プラスチックが与える環境への影響」が25.6%、「家庭でできるプラスチックの減量方法」が24.1%、「プラスチックの排出量」13.2%となった。

(9) プラスチック分別回収を区内全域で導入する際に、区民の方への周知として効果的な手法



効果的な周知手法としては「広報たいとう」が55.1%と最も多く、次いで「ごみ保管庫や集積所等での案内掲示」が51.0%、「冊子「ごみと資源の分け方・出し方」全戸配布」が46.7%、「町会掲示板、チラシの回覧」が31.2%、「説明会、講習会の開催」が27.2%となっている。

3. データの集計・解析・考察

3-1 プラスチックの排出原単位の推計

排出量調査で計算した世帯人数別排出原単位から、区全体の排出原単位を求めた。令和4年10月1日時点の区の住民基本台帳に基づく人口に、令和2年度国勢調査による世帯人別構成比を乗じて、区の世帯人員別の人口を推計した。

推計した結果、区全体のプラスチック排出原単位は52.4g/人日となった。

世帯人数別人口・構成比と排出原単位

世帯人数	1人	2人	3人	4人以上	合計
世帯数(人)	71,778	26,839	13,023	9,917	121,557
人口(人)	71,778	53,678	39,069	42,332	206,857
構成比	34.7%	26.0%	18.9%	20.5%	100.0%
世帯人数別排出原単位 (g/人日)	65.0	48.7	46.9	40.5	—
台東区全体の排出原単位 (g/人日)	22.6	12.7	8.9	8.3	52.4

※端数処理のため数値が一致しない。

3-2 プラスチックに移行される量の推計

プラスチック排出原単位に区の人口を乗じ、ごみからプラスチックに移行した量を推計した結果、区全体のプラスチック移行量は年間3,956.3tとなった。

プラスチックに移行される量(排出原単位から推計)

台東区全体の排出原単位(g/人日)	52.4
台東区の人口(R4.10.1)(人)	206,857
台東区全体のプラスチック量(t/年)	3,956.3

※排出原単位(g/人日) × 人口(人) × 365(日)

台東区 図書刊行登録 第82号

台東区プラスチック分別回収モデル事業排出実態調査報告書 概要版

令和5年3月発行

編集・発行

台東区 環境清掃部 清掃リサイクル課
〒110-8615 台東区東上野4丁目5番6号
電話 03-5246-1291

受託

加藤商事株式会社
電話 03-6277-7187
